

「日ミャンマー物流ワークショップ」の開催結果について

今般、「日ミャンマー物流ワークショップ」をミャンマー・ヤンゴンで開催しましたので、その概要をお知らせします。

本ワークショップは、平成20年11月の第6回「日ASEAN交通大臣会合」において、「日本とアセアン諸国との実務レベルでの交流促進を図る」旨合意されたことを踏まえ実施されたものです。

今回のワークショップには、日本とミャンマー両国官民合わせて約100名が参加し、パレットの普及促進等に関し、実務的観点から活発な意見交換が行われました。

1. 日時：平成24年2月3日(金) 9:00～16:30

2. 場所：ミャンマー・ヤンゴン ミャンマーフレイトフォワード・ス協会 ロジスティクストレーニングセンター

3. 参加者：

【日本側】国土交通省、日本パレット協会、日本インターナショナルフレイトフォワード・ス協会(JIFFA)、(株)クレフィール湖東

【ミャンマー側】運輸省、ミャンマーフレイトフォワード・ス協会(MIFFA)、その他現地物流事業者が多数参加

4. 講演内容

- (1)物流効率化とパレチゼーション
- (2)物流におけるパレットの役割
- (3)物流関係協会の役割と活動
- (4)ミャンマーにおけるトラック運輸事情について
- (5)トラックの安全な荷役方法とトラブル対応

5. 意見交換の主な内容

- ・ 日本側から、物流効率化の一手段として、パレットの普及と合わせて、パレットによる物流効率化の効果をより高めるためには、標準パレットの推進が重要である旨コメントしました。
- ・ ミャンマー側から、パレットの導入に高い関心が示されるとともに、同国におけるパレットの普及促進のための研修の実施等、物流分野の人材育成に関する日本側の協力への期待が表明されました。



ワークショップの様子



フォークリフトを使った荷役作業の実演の様子